

事例報告
発表の要旨

「平田プラタナスプランと ひらこう図書館の連携」

島根県立平田高等学校 教諭 舟木 司

平田高校は出雲市にある中規模普通高校で、現在は文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定を受けて地域協働学習を推進しており、その地域人材育成循環システムは「平田プラタナスプラン」と命名されています。本校で探究学習が本格的に開始されたのは平成29年のことで3年生のプレゼン指導の一環として、ひらこう図書館にて進路ビブリオバトルが展開されました。翌年から地域課題解決学習がスタートし、以後、図書館を中心に探究が推進されています。今回の事例報告は8月の高図研の研究発表の内容を簡潔にしながらも部分的には詳細なものとししました。平田高校の横顔から始まり、ひらこう図書館の活動を紹介し、そして探究学習および平田プラタナスプランと図書館の連携がどのようなものなのかある程度は理解できると思います。探究学習を進めた中で見えてきた本校の課題も示しましたので、今後の活動に向けてご助言をいただければ幸いです